



岡野 一男 議員

**質問** アグリサイエンスバレー事業の進捗状況について

**答弁** 地元の農業に貢献できるように使命感をもって進めていく

岡野議員の質問動画



**議員**

農地エリア・都市エリアの進捗状況を問う。

**産業振興部長**

生産面では、(有)大地、(株)たねまき常総、(株)ファームシップの三者がイチゴ、ミニトマト、ホーレンソウを栽培予定で、このうち二者がハウスを建築中である。加工流通面では、(株)ムロオが令和4年開業予定、グッドマンジャパン(株)が令和4年建築予定である。民間集客施設は、施設計画を進めている。

**議員**

農地エリアの三者は、全部自社で生産を行うのか。

**産業振興部参事**

三者とも自社で生産する。

**議員**

アグリサイエンスバレー事業は、農業の生産加工から流通販売まで一貫して行う農業開発であると認識していたが、建築物を見ると、物流が主体と感ずる。

**産業振興部長**

建物の外観ではなく、進出企業の事業内容が重要であると考える。企業には本地区の開発コンセプト

トをご理解のうえ、進出いただいた。

**議員**

進出企業が農業関係以外になる可能性はないか。その場合、監督指導はどうなるのか。

**アグリサイエンスバレー整備課長**

進出企業の業態については、用途地域や地区計画等で一定の規制が適用されているため、その法規制の下で指導を行っていく。

**議員**

この事業は、当市の基幹産業である農業を確立し、農業経営の安定を図っていくと期待していたが、企業誘致に偏り、地元農業に還元されないのではないか。

**アグリサイエンスバレー整備課長**

企業には、構想をご理解いただいている。地元の農家に貢献できるものを作り上げていきたい。

**議員**

周囲に及ぼす環境問題はあるか。アグリサイエンスバレー整備課長 電波障害が発生したことは把握しているが、早急に対応した。

**議員**

今後、環境問題を含めて責任を持って指導していただきたい。



坂野 茂実 議員

**質問** コロナ禍の経済対策として「制服バンク」の設置を望む

**答弁** 基準やルールを統一する中で制服バンクを推進していく

坂野議員の質問動画



**議員**

コロナ禍において、小学校の生活様式はどのように変化したか。

**教育長**

基本的な感染対策に加え、新しい生活様式を意識した学校生活が定着していると感じている。

**議員**

新型コロナウイルス感染症による出席停止が不登校を助長したような事例はあるか。

**教育部長**

新型コロナウイルス感染症拡大時には、出席停止者が100名近くいたが、新型コロナウイルス感染症による出席停止を起因とする不登校はない。

**議員**

現在、ランドセル症候群による不調に注意が必要という医師や専門家がいる。特に、小学校低学年の児童が、重くて大きいランドセルを長時間背負って登校する際に通学ブルーとなり、不登校が心配されるといわれるものである。

**教育部長**

文部科学省が推奨している「置き勉」を活用することで改善されるが、市では「置き勉」をどのよ

うに進めているか。

**指導課長**

現在、すべての学校で絵の具や習字用具などの教材や技能教科の教科書や教具を学校に置いていくことを認めており、主要教科の教科書やノートを持ち帰るという状況である。学校ごとに状況が違うので、学期末には計画的に持ち帰るように指導している。

**議員**

保護者にも「置き勉」を理解いただいて、子ども達が無理のない登下校ができるよう配慮していただきたい。

**教育部長**

次に、コロナ禍の対策の一つとして、卒業生から制服の寄付をいただく、在校生に活用してもらうという「制服バンク」を設置してはどうか。

**議員**

5つの中学校で各学校独自の取り組みとして進めている。生徒に物を大切にすることを思いやりの心を育み、教育的・環境的な効果を期待できる。また、コロナ禍における経済面でも有効であり、基準やルールを統一して推進していく。